



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日
上場取引所 東

上場会社名 特殊電極株式会社
 コード番号 3437 URL <http://www.tokuden.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西川 誉
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 片岡 達哉 TEL 06-6401-9421
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,354	16.8	724	52.8	738	37.2	586	52.7
2022年3月期第3四半期	6,298	△0.3	474	28.0	537	20.4	384	24.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 624百万円 (56.6%) 2022年3月期第3四半期 398百万円 (21.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	371.08	—
2022年3月期第3四半期	243.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	10,730	6,819	63.1	4,283.57
2022年3月期	9,647	6,252	64.4	3,929.68

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 6,772百万円 2022年3月期 6,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2023年3月期	—	18.00	—		
2023年3月期（予想）				18.00	36.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	9.1	800	30.1	810	17.8	640	31.7	404.78

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	1,602,000株	2022年3月期	1,602,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	20,996株	2022年3月期	20,906株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	1,581,088株	2022年3月期3Q	1,581,094株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じる中で、各種政策の効果や海外経済の改善により、持ち直しの動きが続くことが期待された一方、金融資本市場の変動等のリスクがあるなど、先行きの見通せない不透明な状況で推移しました。

このような状況の中にあつて当社グループは、営業部門におきましては、営業活動の効率化と高度化を推進し、売上拡大に鋭意努力してまいりました。

生産工場及び工事工場におきましては、安全第一のもと、技術の伝承を進めると共に品質の向上や作業の効率化を推し進めてまいりました。

研究開発などの技術部門におきましては、新技術、新製品、新装置の開発ならびに既存技術の向上に取り組んでまいりました。

また、海外子会社におきましては、販売体制の強化を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,354百万円（前年同四半期比16.8%増）となりました。損益面におきましては、営業利益は724百万円（同52.8%増）、経常利益は738百万円（同37.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は586百万円（同52.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 工事施工

積極的な提案型営業と高度技術の提供、徹底したコスト削減の実行により、受注拡大に努めました結果、トッププレート工事、電力関連現地機械加工工事の受注は減少しましたが、粉砕ミル工事、連続鑄造ロール肉盛工事、鉄鋼関連の保全工事の受注が増加したことにより、売上高は5,387百万円（前年同四半期比15.3%増）、セグメント利益は935百万円（同34.3%増）となりました。

② 溶接材料

直販体制の優位性を活かし、新規顧客の開拓と既存顧客の更なる深耕による販売力強化に努めました結果、当社の主力でありますフラックス入りワイヤなどの製品の売上高は369百万円（前年同四半期比0.5%減）となりましたが、商品のアーク溶接棒、TIG・MIGなどの溶接材料の売上高は634百万円（同15.3%増）となり、溶接材料の合計売上高は1,003百万円（同8.9%増）、セグメント利益は150百万円（同14.0%増）となりました。

③ 環境関連装置

アルミインゴットの省エネ型加熱装置、自動車産業用粗材冷却装置の受注が増加したことにより、売上高は539百万円（前年同四半期比87.1%増）、セグメント利益は57百万円（同63.1%増）となりました。

④ その他

自動車関連のアルミダイカストマシーン用部品の受注が増加したことにより、売上高は424百万円（前年同四半期比2.2%増）、セグメント利益は24百万円（同40.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、10,730百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,082百万円増加しました。これは、現金及び預金296百万円の減少がありましたが、商品及び製品190百万円、受取手形、売掛金及び契約資産385百万円、有形固定資産827百万円の増加が主な要因です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、3,910百万円となり、前連結会計年度末に比べ515百万円増加しました。これは、短期借入金130百万円、未払法人税等104百万円、賞与引当金100百万円の減少がありましたが、長期借入金612百万円の増加が主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、6,819百万円となり、前連結会計年度末に比べ567百万円増加しました。これは、利益剰余金529百万円の増加が主な要因です。

この結果、自己資本比率は63.1%（前連結会計年度末は64.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当初の計画通りに推移するものと考えており、現時点におきましては、2022年11月11日発表の業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,356,374	3,059,513
受取手形、売掛金及び契約資産	3,030,428	3,415,594
電子記録債権	484,116	516,935
商品及び製品	563,444	753,748
半成工事	179,011	123,599
原材料及び貯蔵品	89,636	103,833
その他	71,376	59,161
貸倒引当金	△22,680	△23,460
流動資産合計	7,751,708	8,008,926
固定資産		
有形固定資産	1,431,459	2,258,737
無形固定資産	26,290	29,094
投資その他の資産	438,422	433,520
固定資産合計	1,896,172	2,721,352
資産合計	9,647,880	10,730,278
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,847,176	1,919,825
短期借入金	130,000	—
1年内返済予定の長期借入金	—	70,200
未払法人税等	217,019	112,470
賞与引当金	253,994	153,000
工事損失引当金	4,985	4,968
その他	223,843	355,183
流動負債合計	2,677,017	2,615,647
固定負債		
長期借入金	—	612,250
退職給付に係る負債	597,033	620,485
その他	121,445	62,453
固定負債合計	718,479	1,295,188
負債合計	3,395,497	3,910,836
純資産の部		
株主資本		
資本金	484,812	484,812
資本剰余金	394,812	394,812
利益剰余金	5,371,280	5,901,076
自己株式	△40,273	△40,465
株主資本合計	6,210,631	6,740,235
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,207	60,813
為替換算調整勘定	5,856	5,666
退職給付に係る調整累計額	△42,508	△34,376
その他の包括利益累計額合計	2,554	32,103
非支配株主持分	39,196	47,103
純資産合計	6,252,382	6,819,441
負債純資産合計	9,647,880	10,730,278

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	6,298,894	7,354,847
売上原価	4,497,877	5,211,169
売上総利益	1,801,017	2,143,678
販売費及び一般管理費	1,326,899	1,419,296
営業利益	474,117	724,381
営業外収益		
受取利息	308	298
受取配当金	3,160	4,944
スクラップ売却益	4,047	4,133
雇用調整助成金	49,577	—
その他	9,193	5,704
営業外収益合計	66,287	15,082
営業外費用		
支払利息	200	1,086
為替差損	1,567	—
その他	668	66
営業外費用合計	2,436	1,153
経常利益	537,968	738,310
特別利益		
固定資産売却益	299	113,364
特別利益合計	299	113,364
特別損失		
固定資産除却損	149	126
特別損失合計	149	126
税金等調整前四半期純利益	538,119	851,548
法人税、住民税及び事業税	147,851	233,056
法人税等調整額	2,907	23,711
法人税等合計	150,758	256,768
四半期純利益	387,360	594,780
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,071	8,064
親会社株主に帰属する四半期純利益	384,288	586,715

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	387,360	594,780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△448	21,606
為替換算調整勘定	3,483	△347
退職給付に係る調整額	8,140	8,132
その他の包括利益合計	11,175	29,390
四半期包括利益	398,535	624,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	393,762	616,263
非支配株主に係る四半期包括利益	4,773	7,907

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症の影響については、今後の広がり方や収束時期等を正確に予測することは困難な状況にありますが、2023年3月期末には一定の影響が残るものと仮定し、固定資産の減損会計及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。